

45. 7. 30

NO. 6766

発行 佐井村役場

# 広 報 さ い

男 2,499人  
 女 2,583人  
 口 1,094世帯

## 県政懇談会開かれる

### 知事が来村し大間町と合同で

昭和四十五年度第一回県政懇談会が七月十八日午前十時半から「みどり荘」で開かれ、県から竹内知事、北村副知事はじめ各部長など三十五名、大間町から町長外三十名、当村から村長外三十名が出席し、農業、水産、土木、林業、観光部向で活発な質問が出され、午後三時に終了した。(記録は次号に登載の予定)

## 消防団観閲式行なう

### 川目婦人消防協力隊初参加

恒例の佐井村消防団定期観閲式は本年も去る七月五日観閲者佐井村長外来賓多数総帯のもとで行なわれ、団長(藤田貞雄氏)の現況報告、機銃器具点検、ボンパ操法などが行なわれた。  
 なかでも、昨季発足した川目婦人消防協力隊(隊長宮沢さよ以下三十一名)によるボンパ操法は求道の目をみはらせた。  
 表彰では、消防団長官表彰ほかの依違があり、受彰者は次のとおりである。

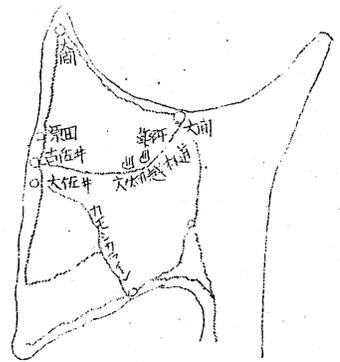
- (1) 消防団長官 表彰  
 金沢 清吉、松本喜代美、松本 唯雄、東出 若男
- (2) 日本消防協会会長表彰  
 卒頭級 佐井村消防団  
 勲章 藤田貞雄、木部文夫
- (3) 青森県消防協会会長表彰  
 白首卒頭級 佐井村消防団  
 紅色
- 現場功労章 島野利勝以下八名  
 勲章 宮川勇二以下三名  
 勲章(20等) 館脇義一以下三十一名  
 勲章(15等) 若山 茂以下二名  
 勲章(10等) 石黒清吾
- (4) 県消防協会大間支部長表彰  
 無父空頭級 才五分田  
 現場功労章 川岸稔武以下八名  
 功績章 川畑春義以下三十一名  
 精勤章 畠中政司以下二十五名
- (5) 厚狭大間警察署長表彰  
 感謝状 宮野淳太郎
- (6) 佐井村長表彰  
 感謝状 古村正男(消防団長)  
 川岸早佐美(消防団協力)

- (7) 佐井村消防団長表彰  
 精勤章 松本勇助以下十四名
- 山崎五郎(消防団協力)  
 三上 敏  
 北田三智男  
 伊藤 宗  
 横沢定次郎  
 福田 弘光

## 大畑越林道

### の開通について

古佐井から桂平、薬研を経て大畑に通じる釜越林道がこの春開通しました。  
 この林道は、昭和四十三年春当時片山正英林野庁長官および松本守雄青森県林向長の英断による下北地に重点投資計画の一環として計画され、四十三年度から、佐井側と大畑側と双方から集中的に工事が進められ、完了したもので、昨季暮、一応工事を完了して貫通してあります。



この春、雪解け等による法面土砂の崩落倒滑の補修などを終え、車輛が通行できる状態になりました。前道後もしばらくの間、桂平の登り勾配の箇所で路面に散布した玉子・バリスが十分おちへいていなかったため、佐井側から大畑方向に向う場合、普通車はやや難行しておりましたが、六月下旬は路面を整頓してあり安全に通行できるようにいたしましたのでおしるせます。

この林道による佐井・大畑間の距離は約三十七キロで、大畑経由による場合の区間距離約四十四キロにくらべ七キロ短縮されることとなります。さらに佐井から興

薬研まで二十四キロ、薬研まで二十七キロとかなり大巾に短縮され、佐井から薬研方面への湯治、紅葉狩りなどの旅行は時間的に大巾に短縮され、かつ沿線の美しい風景を觀賞することが出来ます。

この林道は巾員四メートルの二級幹線自動車道として設計実行されており、この林道の開通は、さきに完成した佐井海津林道、奥道カモシカラインおよび現在工事が進められていく薬研、湯ノ川、薬研、恐山間の林道へいすれも青森県林高の下北地区重点投資計画による林道への開通とあいまつて、下北半島における森林資源の開発を中心とした産業経済の発展ならびに仏ヶ浦、薬研、恐山を軸とした観光開発に対しては、かなり知れない効果をもたらすものと期待されます。

道路の開通、整備にともなう観光客の来訪が増加しており、まことにふさわしい限りですが、反面、心算な観光客等によるシヤクナゲ、その他の高山植物の採取が跡を

絶ちません。郷土の美しい自然を守り、豊かな観光資源を保護するため、村内の皆さんの一層のご協力をねがい申し上げます。

佐井宮林署

### 郵便番号をお忘れなく 記入もれは別扱いに

郵便番号は昭和四十三年七月から実施されましたが、この七月までは三丁目までしか記入されないうり、かえることになりました。郵便局ではすでに六月一日から郵便物の区分方法を全面的に「番号区分」に切りかえています。

郵便を出すときは必ず郵便番号を高くようにしなう。

### 村内に新設電話

- 一三九番 佐賀時計店
- 一四〇 佃 博文
- 一四一 佐井村農協
- 一四二 向本理容院
- 一四四 栗田小学校
- 六一四四 高橋利幸
- 一四五 細川組石場

- 一四六番 仙ヶ浦海上観光(有社)
- 一四七 中郷 貞市
- 一四八 松田 健吉
- 一四九 齋藤 源松
- 一五一 泉工務店
- 一五二 佐井村讀史組
- 一五三 袴田 茂
- 一五四 川越正蔵
- 七六二五 仙ヶ浦

佐井郵便向

夏休みの生活設計を

夏休みは、こどもの心身の鍛錬や経験的学習に絶好の時期です。家庭では、学校の指導方針に基づき、夏休みの生活設計について話し合い、家族が協力して子どもに健全な生活を送らせるようになければなりません。夏休み中は次のことを心がけましょう。

- (1) 家庭生活の充実をはかる
  - 自主的な計画を立てて生活をすすめ、家族が明かるといふ雰囲気になまされていようようにしたいものです。また、趣味を生かし、余暇をよりよく利用して楽しむようにしましょう。家庭内でも礼儀作法を忘れないで、子どもをしっかりとつけましよう。
- (2) 社会生活の充実をはかる
  - 自主的に社会奉仕活動を行なうように仕向け、規律を守って非行にはいらぬようにつけましよう。
- (3) 学習の充実をはかる
  - 計画的な学習を行なって実効をつけましよう。
- (4) 健康な生活の充実をはかる
  - 長い休みの期間を利用して治療を要する病気を完全に治すように努めましよう。また、病気にいかかぬように予防と衛生に気をつけましよう。

心身を鍛錬し、健康の増進をはかりましよう。

(5) 安全に注意する

交通事故にあわないようにな気をつけ、危険な遊びをしないように注意を与えましよう。夏休みの生活のよ(あ)しは二期期の学校生活に重大な影響を及ぼすものです。夏休みの意義をあらためて考えなおし、子どもと話し合いの機会を多くもって一日一日の生活を及ぼし、あ)健全な生活指導に努めましよう。

人事移動 七月十日付

部員所長樋口 潔(民生課)  
 民生課 奥本正明(保育所長)  
 議会主任書記奥本正明(奥本協賛)  
 目 書記大田繁子  
 奥本文枝  
 選挙書記 奥本正明(樋口系)  
 七月二十七日付  
 看護係長 斎藤さよ  
 ※カンゴ内は旧職務です。

国民年金保険料

は四つめに

- (1) 六月までは二五〇円、三〇〇円の二水立てになっていまして、七月から全部の人が四五〇円になります。
- (2) 七月は一回目の納期限です。四・五・六月分の保険料は七月中に納めませんと、障害・母子手金などが受けられなくなる可能性があります。
- (3) 二年以上納期限を経過した保険料は既効によって納められないことになってしまいました。七月からは納めることができます。今までに未納になっている方はさかのぼって納め(月四五〇円)高い年金を受けられるようになりましよう。

民生課

戸籍の窓口

お誕生おめでとう

- 松谷 孝子(父忠敏)大佐井
- 紀伊 直和(父光一)古佐井
- 津田 興(父栄一)大佐井
- 木下 幸栄(父彦男)古佐井
- 東出 利香(父元)磯谷
- 木下いく子(父弘鬼)矢越
- 浜野 政春(父重雄)大佐井
- 船越 正明(父善松)牛廻
- 工藤美恵子(父保夫)川目
- 荒川 牧子(父昭市)大佐井
- 岡本 一文(父文雄)大佐井
- 田中由利江(父正行)福浦
- 越嶋 直也(父成雄)福浦
- 奥本 三朗(父政志)大佐井
- 三子 倫おめでとう
- 竹上 敏 三沢市
- 宮川 敏子 大佐井
- 大畑 清栄 古佐井
- 松藤 清子 原田

- 七戸 幸三 古佐井
- 青山真砂美 朝日村
- 石原 茂正 蒲原町
- 東出 信子 川目
- 高田 栄行 河津市
- 佐藤八重子 原田
- 松谷 鉄夫 大佐井
- 山本 寸み 大淵町
- 宇田川和夫 松本市
- 能登マサ子 古佐井
- 養木喜代司 大佐井
- 長島 さこ 大佐井
- 山本 昭一 古佐井
- 小玉 澄子 美濃市
- 近云おくやみ市いまず
- 津田 奨(栄一方)大佐井
- 柳田 俊雄(きぬ方)福浦
- 金丸 元主(唯一方)大佐井
- 松谷 やぶ(岩子方)古佐井
- 田名部(ま)辰雄方)古佐井